

医療依存度 受入目安表

病名・処置内容		内容	入所受入	短期受入	通所受入	備考
認知症		脳の神経細胞の障害により、記憶障害等出現し、生活に支障をきたす状態	○	○	○	離荘・暴力等危険行為について確認
経管栄養(経鼻)		口から食事が摂れないあるいは栄養が十分でない状態の際に、鼻から胃に管を入れて栄養剤を流す方法	○	○	○	実施内容(時間や栄養剤)について確認 管を抜いてしまう危険のある方は対応検討
経管栄養(胃ろう)		胃に管を通す処置をして栄養剤を流す方法	○	○	○	実施内容(時間や栄養剤)について確認 管を抜いてしまう危険のある方は対応検討
褥瘡(じよくそう)		長時間同じ体勢でいることにより血行不全となった部位が創傷となってしまう状態 床ず	○	○	○	在宅療養管理レベルは可能
尿道カテーテル(バルーン)		自力で尿がだせない状態の時などに尿道口から膀胱内に管を入れて尿を排泄する方法	○	○	○	管を抜いてしまう危険のある方は対応検討
人工肛門(ストーマ)		大腸の手術の後に腸管の内容物(便)を排泄するために人工的に造設した孔(あな) 腸ろ	○	○	○	使用物品等について確認
人工膀胱(ストーマ)		膀胱の手術の後に尿を排泄するために人工的に造設した孔(あな) 膀胱ろう	○	○	○	使用物品等について確認
インシュリン注射		血糖を下げる作用のホルモンを注射する 糖尿病の治療	○	○	○	実施内容(時間や使用薬剤量)について確認 使用物品は持参をお願いします
人工透析		腎臓の機能低下に対し、人工的に血液を浄化する治療 血液透析・腹膜透析	○	○	○	通院送迎はお願い致します
在宅酸素		専門機器を使用し、空気より高い濃度の酸素を作り酸素療法を行う	○	○	○	月1度の指示医受診が必要 酸素流量3L以下で状態が安定している方
気管切開		皮膚切開して気管にカニューレを挿入し気道確保する方法	△	○	○	在宅療養管理レベルは可能
中心静脈栄養(IVH)		心臓に近い静脈に管を留置し高カロリー注射液を持続点滴する方法	×	△	△	在宅療養管理レベルは可能
喀痰(かくだん)吸引		吸引装置を使用して痰を吸引、排痰を行なう	△	△	○	必要な回数等について確認必要
感染症	MRSA	薬剤耐性した黄色ぶどう球菌 院内感染症の原因菌となる事がある	○	○	○	排菌のない事の確認が必要
	疥癬	ヒセンダニが皮膚に寄生する感染症	△	△	×	主治医の診断により要相談
	結核	結核菌による感染症	△	△	△	排菌のない事の確認が必要 主治医の診断により要相談
	ウイルス性肝炎(B・C型)	ウイルスが原因で肝炎をおこす感染症	○	○	○	検査結果確認
	梅毒	梅毒トレポネーマによる感染症 性病	○	○	○	検査結果確認
	インフルエンザ	インフルエンザウイルスによる感染症 肺炎	△	×	×	主治医の診断により利用再開

○:受け入れ可能 △:応相談 ×:受け入れ不可

* 上記病名、処置内容について受入対応が「○」の方も事前に診療情報提供書をご提出いただき、判定会議を致します。御了承下さい。

* 上記以外の医療処置等でご相談のある方はご遠慮なく御連絡下さい。